



本当に必要？ 救急車はいのちをつなぐ乗り物です。適正利用にご協力を！

消防だより

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243
病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

今年の出動など(累計)

火災……………10件
救急……………922件
救助……………14件
(平成28年8月31日現在)

家庭内での乳幼児の事故

(事故事例)

- ・ 家の中や浴室での転倒。
- ・ 机などの家具に頭をぶつける。
- ・ ポットや卓上湯沸器などをはじめ、家電製品による熱傷。
- ・ ボタン電池やたばこなどの誤飲。
- ・ 喉に物を詰まらせ窒息。
- ・ 浴室での溺水。
- ・ 階段からの転落。
- ・ ベランダや窓からの転落。



乳幼児は危険に対する認識が乏しく、危険を回避する能力がまだまだ未熟であり、家庭内においても比較的多く事故が発生しています。これらの事故は、家族や周囲の人が、

必要なのは どんなとき？



救急車を上手に使いましょう

近年、救急車の出動件数・搬送人員数は共に増えており、救急隊の現場到着時間も遅くなっています(全国平均で約8分)。

救急車や救急医療は限りある資源です。救急医療を安心して利用できる社会を目指しましょう！

迷わずに救急車を呼んでほしい症状

大人の場合

- ・ 顔の一部や顔半分が動きにくかったり、痺れたりする。
- ・ 呂律が回りにくい。うまく話せない。
- ・ 突然の手足の痺れ、麻痺。
- ・ 突然の激しい頭痛。
- ・ 急な息切れ、呼吸困難。
- ・ 突然の胸痛、圧迫感。
- ・ 持続する激しい腹痛。
- ・ 吐血や下血がある。
- ・ 意識障害・意識消失。
- ・ 広範囲のやけど。

小児(15歳未満)の場合

- ・ 唇の色が紫色。呼吸が弱い。
- ・ 激しい咳。ゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い。
- ・ 手足が硬直している。
- ・ 頭痛と痙攣がある。
- ・ 激しい下痢や嘔吐で水分が摂れず意識がはつきりしない。
- ・ 激しい腹痛、嘔吐が続く。
- ・ 吐血や下血がある。
- ・ 意識障害、意識消失。
- ・ 広範囲のやけど。

その他、いつもと様子が違う場合はすぐに救急車を呼んでください。

救急車を呼んだら 用意しておく便利なもの

- ・ 保険証や診察券
 - ・ 普段飲んでる薬やお薬手帳
 - ・ お金
 - ・ 母子手帳(乳幼児の場合)
- ※救急車を呼んだ場合は、基本的には家族などの同乗をお願いしています。

救急隊に伝えてほしいこと

- ・ 事故や具合が悪くなった状況
- ・ 行った応急手当の内容
- ・ 具合が悪い方の情報(持病、かかりつけの病院、普段飲んでる薬、医師の指示など)



付けましたか？ 住宅用火災報知器

全ての寝室と階段(2階に寝室がある場合)に必要です。正しい場所に設置されているか確認してください。